大阪市教

2019年 11月7日
VOL. 563
（一部30円。 購読料は組合費に含む）

生野田島平和まつり＝10月13日

「都構想」ストップ
府民のつどい
○11月27日19時
○エルおおさか（天満橋）

発行　大阪市学校園教職員組合　大阪市中央区法円坂1－1－35（大阪市教育会館内）　TEL 6910-8700 https://osaka-shikyo.org/ FAX 6910-7990 E-mail o-sikyo1@sea.plala.or.jp

カジノあかん！夢洲危ない！800人超え

北・淀川・天王寺特別区 現市役所活用

集会後のデモで「カジノはあかん」

カジノあかんを掲げる参加者

「カジノあかん！夢洲あぶない！ここで万博大丈夫？10・22市民集会」が10月22日開かれ800人を超える参加者で超満員となりました。

維新府・市政は2025年の万博と一体に、大阪湾の埋め立て地・夢洲にカジノを核とする統合型リゾート（IR）の誘致へ暴走する中、カジノの害悪、夢洲の危険性を改めて考え、反対する運動を大きく広げようと開かれました。

ミニ講演で田結庄良昭神戸大学名誉教授は、南海トラフ地震による液状化で護岸が沈下し浸水被害が出ること、液状化によるインフラの破壊、大阪港のコンビナートのタンクの損傷・火災などを挙げ、「こんな危険なところで、解決方法もないのに（カジノや万博）やるのはいかがなものか」と力説しました。

「依存症まだつくるのか」「暴力団関与、多重債務者増、子どもの成育に悪影響」「夢洲は渡り鳥の楽園」「標的は周辺住民の財布」とリレートークで告発しました。

都構想法定協 庁舎は市役所

大阪市を廃止・分割する「大阪都」構想制度設計検討の法定協議会が10月24日開かれ、年内に協定書の方向性を確認し、来秋～冬に住民投票を行うスケジュール（案）が示されました。

特別区について名称を当初案の東西区を「淀川区」、南区を「天王寺区」とし、スペース不足から一部の部署が現市役所に入ることを確認しました（北区は現市役所、中央区は現中央区役所）。特別区設置でコスト増、住民サービス低下の批判に対する珍論で、「大阪市を残すのが一番効率がいい」と自民党市議が指摘。市民サービスの部署が区域外となり「ニアイズベター」を自ら否定するもので、「議員定数も少なく、中核市並みの自治体とは言えない。広域の一元化が肝であって、『特別区』がどうなっても良いということだ」と共産党市議が批判しました。

変形労働制法案 廃案に

夏休みの前に倒れそう

安倍政権は公立学校の教員に「1年単位の変形労働時間制」（現在は民間事業所のみ対象）を導入する法案を臨時国会に提出しました。

「繁忙期」に1日10時間労働まで可能とし、「閑散期」と合わせて平均で1日当たり8時間に収める制度です。時事通信は、「文科省は…夏休みなどの長期休業中に、集中して休日確保を促したい考え。…有給休暇と合わせて『10日間の休日まとめどり』を推進することなどを想定している」などと政府・文科省の説明を鵜呑みにしたまま流布しています。

「夏休みだって忙しい、『閑散期』ではない」、「学期中の勤務時間が長くなる」、「17時からの会議・打ち合わせが当たり前になってしまう」「保育園の迎えが間に合わなくなる」「夏休みの前に倒れそう」など、怒りの声が上がっています。

労働基準法は、人間の生理にあった「1日8時間労働」を原則としているため、「変形労働時間制」を導入する場合、労働者代表もしくは過半数組合との労使協定が必要です。しかし法案は、給特法の改正、条例制定で教職員の同意も得ず、好き勝手に労働条件を改悪しようとしています。法案は廃案しかありません。抜本的に教職員定数を増やす、授業のコマ数を減らす、業務を減らす、教育予算を増やさなければ長時間労働を解消することはできません。

全国革新懇

共闘の時代から 連立の時代へ

全国革新懇の「地域・職場・青年革新懇全国交流会」が10月19日、20日神戸市で開催されました。憲法学者の小林節さん、総がかり行動実行委員会共同代表の福山真劫さん、首都圏反原発連合のミサオ・レッドウルフさんのあいさつに続き、小田川義和代表世話人が「共闘の時代から連立の時代への移行期にある今こそ、革新懇の政策の力、組織の力、草の根の力を発揮し、憲法が花開く、国民が主人公の政府への展望を切り開こう！」と問題提起しました。

志位和夫日本共産党委員長と岡野八代同志社大学教授が特別発言し、岡野さんは、「安倍政権の立憲主義への敵意から、個人の尊厳を守るために、歪んだジェンダー秩序を、少しづつでもほどいていこう」（代読）とよびかけました。大阪国公革新懇の「森友・加計」問題のたたかい、愛知青年ネットの発言など全国の草の根の報告が会場を熱くしました。

止めよう改憲発議

安倍政治を終わらせよう

「輝け憲法！生かそう9条！11・3おおさか総がかり集会」が11月3日、扇町公園で行われ1万2000人が「NO安倍政治！」「9条改憲STOP！」のポテッカーを突き上げました。

立憲民主、共産、社民党の挨拶、韓国市民団体、「辺野古に基地はいらない」「カジノあかん」などのアピール、大阪朝鮮高級学校生徒の舞踊が行われ、市民が連帯して、安倍9条改憲発議を許さず、東アジアの平和と核なき世界をめざし、みんなの力で安倍政治を終わらせようとの集会宣言を採択。

ゲストスピーチで高山佳奈子京都大学大学院教授は、「いまは立憲政治ではなく利権政治。一部の人の金もうけのための政治。参議院選挙結果は、改憲勢力3分の2を阻止した勝利。1人区では大勝利。野党は13年2議席から19年10議席。一方、問題ありと日本の政治が指摘されているのに、なぜ与党が勝つのか、なぜ投票に行かないのか、世界から見た選挙の評価。投票に行く人が増えれば立憲勢力は増える。税金の使い方、『身の丈』発言―経済格差を助長する政府を許さないと、周りの人に声をかけていこう」と呼びかけました。

秋の憲法大学習会
講師 小森 陽一
11月23日（土） 14時
大阪クリスチャンセンター（玉造）

仲間が増えた！

つながりのある人に声をかけ 組合員を増やしましょう

今年度から大阪市で講師をしているAさん。昨年度まで勤務していた他市の先輩から「こちらと同じ組合は大阪市教よ」と知らされ、自ら加入の連絡をしました。

大教組単組のBさんから「教え子のCさんが大阪市の学校で働いています」と連絡がありました。さらにBさんはCさんに組合について話し、加入を勧めました。Cさんは信頼を寄せるBさんのお誘いならと、加入を決めました。

つながりのある人を気にかけ、当たり前のように組合の話をする。勇気持ってやってみませんか？そしてあなたの周りで1人、組合員を増やしましょう！

教え子を再び戦場に送るな！